

令和3年度使用教科用図書 第2回高砂採択地区選定委員会（音楽一般） 議事録

令和2年7月21日（火）

加古川市人権文化センター

発言者	内容
司会（会長）	音楽（一般）の教科用図書について審議する。 教育出版についていかがか。
委員	器楽と一般を同一の教科書会社のものにしたほうがよいと感じた。わかりやすいリコーダーの絵がある。相対的に教科書らしく感じ、安心して学べる印象である。
委員	ラップを入れたりするなど、生徒が興味を持ちやすい内容を入れている。音楽の場合、器楽と一般につながりがあり、同じ教科書会社がいいと思った。
委員	どちらも甲乙つけ難く、選ぶのは難しい。しかし、生徒の興味や関心の視点で見るとわかりづらい部分があった。
委員	書き込みのページがありよいと感じたが、イラストがわかりづらい気がした。
司会（会長）	教育芸術社についていかがか。
委員	学習内容の掲載順が、生徒にとってわかりやすいので、よい。浜辺の歌など、音符がわかりやすく書かれている。
委員	生徒にとって興味の持ちやすい新しい感じがする教科書である。
委員	生徒の興味や関心がある楽曲があり、使いやすいと思われる。
委員	一曲一曲の説明が詳しい。生徒にとって親しみやすい曲が多かった。曲のできた背景が記述されている。合唱コンクールに使える曲が多く掲載されている。
司会（会長）	総括をする。 二つの中では、教育芸術社を第一に、教育出版を第二に推薦する。